

# 「順序が違うのでは」くらし・子育て充実し、 町政の信頼回復こそ

“入口”が解決していない

2月6日、臨時議会にともなう全員協議会で、町は「南部工業団地整備事業」（別掲の趣旨）について「協働」して実現するため「事業協力者」（中間ディベロッパー）の選定に着手したいとして、「事業協力者募集要領」（11 ページ）および事業協力者と締結する「協定書（案）」（7 ページ）を説明。

西澤議員は、「本日公開されたものであり、ザーと読んだ限り」と前置きし、次のように質問。

①事業の趣旨に「町の人口の定住・定着を促すために」とあるが過去の北海製缶（現ユニバーサル）、北落工業団地など企業誘致を進めてき

たが、実際は「人口増」にはつながらなかった、この現実を受け止めているのか——と指摘しました。

②もう一つは307号からの出入り口の件。町の計画では1000人の雇用を生み出すとしており、307号との交差点の拡幅が必要となり、用地買収ともなれば、西明寺さんとの承諾が前提となる。峠道に信号機を設置するのは無理があり、冬季の積雪・凍結などで困難な問題がある。これらの問題を解決せずして先に進むのは道理に合わない。この質問に対して、進入路の新たな用地買収は必要ないと考えている、などと回答。以前

の一般質問では、中間ディベロッパーに委託後解決する、と答弁するなど肝心な入口で方針が明確でない感じでした。

そもそも工業団地計画に無理があると思います。この経済情勢下で進出企業があるのか、道路問題の展望がない、農業・自然環境と調和しているのか、根本的な再検討が必要ではないでしょうか。

## 防災センター 土地造成 1590 万円

臨時議会では平成28年度一般会計補正予算が提出。補正予算の中身は防災センター用地の遺跡発掘調査に係る費用と防災センター建設のための開発申請に関わる「土地造成工事費 1590 万円」が計上されています。

西澤議員は、——①どのような機能の防災センターを建設するか明らかにされていないのに土地造成では順序が違う。②大雪の対応で危機管理の弱点が明確なように、障がい者・高齢者・病弱な方・独居老人などの安否

確認や避難、防災組織の育成など町が提出した防災・減災の課題が進んでいるとは見えない——と指摘し反対しました。

補正予算は賛成7、反対4（野瀬、山田裕康、山田充、西澤）で可決となりました（西川議員は議長のため採決に入らず）。

### ＜西澤議員の話＞

防災センター建設でも、工業団地整備でも本当に順序が間違っていると思います。税金を集め管理する行政の基礎で「ズサンの底なし」とマスコミ記事の見出しがつけられたほど、現在の町政が信頼されておらず「ハコモノ優先」では、住民合意は整うとは考えられません。くらし・子育て応援こそ充実すべきです。

## 南部工業団地整備事業の趣旨

甲良町では、約20年間、人口の減少が続いており、町外へ通勤する就業者が年々増加するような状況にあります。町の人口の定住・定着を促すためには、産業誘致による雇用の場の拡大を図ることが重要な課題となっています。このような中、平成25年10月に名神高速道路湖東三山スマートICが開設され、町への企業進出を促す環境・条件が高まっていると考えられます。（中略）

町は池寺区に所有する町有地28.9haのうち12.6haを民間企業に無償譲渡し、民間活力を導入して産業誘致による町の活性化を目指した南部工業団地整備事業を推進します。今回の募集では、その事業協力者を選定致します。

## 甲良民報

2017年2月12日 694号  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在士463（西澤）  
Tel：38-4949 Fax：38-2242



ご意見・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875  
©日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

## 正副議長選挙の結果

臨時議会では、「正副議長は一年任期、ただし再任は妨げず」の申し合わせに沿って、木村議長と野瀬副議長が共に「一身上の都合」理由で辞職。後任選挙の結果、次のように決まりました。

☆議長 西川議員（丸山議員も6票となり、くじにより当選）

☆副議長 宮寄議員（山田裕康議員も6票となり、くじにより当選）